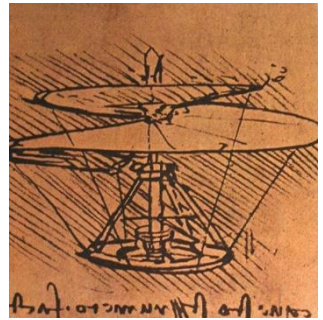


にしっこ 西っ子のみなさんへ 85 4月15日

今日、4月15日は、「ヘリコプターの日」です。「ヘリコプターを身近なものに感じてほしい」と、ヘリコプターの原理を考えたレオナルド・ダ・ヴィンチの誕生日にちなんで全日本航空事業連合会が制定しました。



ダ・ヴィンチは、世界一有名な絵画「モナ・リザ」を描いた人ですが、その才能は、画家としてだけにとどまらず、発明家、建築家、研究者としても有名です。人間が空を飛ぶなんて誰も考えもしない時代に、ダ・ヴィンチは、空を飛ぶことを夢みて、いろいろな方法や道具を考え、実際に試しています。（自分が考案した道具をつかって、人に実験させています）

ヘリコプターの最大の特徴は、空中のある位置に留まるホバリングができることです。そして機体の方向を変えずに、ホバリングの状態か上下左右前後のどの方向にも移動することができることです。比較的狭い場所でも離着陸できるため、遭難者の救助活動などで活躍しています。

現在のヘリコプターみたいに垂直方向に浮上する乗り物を始めて作ったのは、1907年、フランスのコルニュという自転車屋さんです。自転車のタイヤをうまく利用して作ったロータを前後に2つ取り付けプロペラを逆方向に回すことで、20秒間空中を浮遊することに成功しました。ちなみにこの時に浮上した高さは30cmです。

この型のヘリコプターはその後実際に造られ、日本でも川崎重工業がライセンス契約し、国内で60機が製造されました。そのうちの1機が、今は役目を終え、「岐阜かかみがはら航空宇宙博物館」に展示されています。



よく見かける一般的なヘリコプターは、シングルロータ型で、後ろに小さなテールロータがついたものです。もしテールロータが無くなると、プロペラが回る方向と逆の方向に人が乗っている部分が回転してしまい、機体を一定方向に保つことができなくなり、飛行自体ができなくなります。

ヘリコプターを飛ばすには、特別な操縦資格が必要です。ヘリコプターの需要は、ドクターヘリとか、消防防災ヘリなど多方面で増加しているのですが、ヘリパイロットは慢性的な不足状態にあるみたいです。誰か目指してみませんか！